Print Server N01

ユーザーズガイド

セットアップ編

この取扱説明書のなかで ⚠と表記されている事項は、安全にご利用いただくための注意事項です。必ず操作を行う前にお読みいただき、指示をお守りください。

プリンターで紙幣を印刷したり、有価証券などを不正に印刷すると、その印刷物を使用するかどうかにかかわらず、法律に違反し罰せられます。

万一本体の記憶媒体（ハードディスク等）に不具合が発生した場合、受信したデータ、蓄積されたデータ、設定登録されたデータ等が消失することがあります。データの消失による損害については、弊社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

コンピューターウィルスや不正侵入などによって発生した障害については、弊社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ご注意
①本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
②本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
③本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
④本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
⑤本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

はじめに

このたびは、Print Server N01をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

Print Serverは、Adobe® PostScript®を使用して、高品質のカラープリントを実現するためのプリントサーバーです。

本書には、Print Serverの操作方法、および使用上の注意事項を記載しています。

本書は、Print Serverを初めてご使用になるかたを対象として、Print Serverのセットアップ方法を記載しています。

Print Serverの性能を十分に発揮させ、効果的にご利用いただくために、Print Serverをご使用になる前に、必ず最初にこの『ユーザーズガイドセットアップ編』をお読みのうえ、正しくご利用ください。

Print Serverの基本的な操作については、『ユーザーズガイド導入編』をお読みください。

本書は、読み終わったあとも必ず保管してください。本機をご使用中に、操作でわからないことや不具合が生じたときに、読み直してご活用いただけます。

富士ゼロックス株式会社

Contents

マニュアル体系

Print Serverには、次のマニュアルが用意されています。使用目的に合わせてご利用ください。

● ユーザーズガイドセットアップ編＜本書＞

Print Serverを安全にご利用いただくために、本機を使用する前に知っておいていただきたいことについて説明しています。Print Serverの商品パッケージに同梱されているハードウエアの接続方法、各部の名称、およびプリントサーバーとして使用するためのシステムのセットアップ方法について説明しています。マニュアルは、DVDの「Document」フォルダーに、PDFで格納されています。ファイル名は、「Manual_Setup.pdf」です。

● ユーザーズガイド導入編

Print Server を導入するうえでの設定や操作方法について説明しています。マニュアルは、DVD の「Document」フォルダーに、PDFで格納されています。ファイル名は、「Manual_Introduction.pdf」です。

● ユーザーズガイド運用編

Print Serverのプリント機能、色の調整の仕方、プロファイルの割り当てやツールの操作方法について説明しています。マニュアルは、DVD の「Document」フォルダーに、PDF で格納されています。ファイル名は、「Manual_Operation.pdf」です。

● キャリブレーションガイド

Print Server のキャリブレーションについて説明しています。マニュアルは、DVD の「Document」フォルダーに、PDFで格納されています。ファイル名は、「Manual_Calibration.pdf」です。

● ライセンスについて

Print Server のライセンスについて記載しています。マニュアルは、DVD の「Document」フォルダーに、PDFで格納されています。ファイル名は、「Licence.pdf」です。

● セキュリティー対策に関する補足情報

Print Serverのセキュリティーに関する補足情報について説明しています。

● Ver.6.0リリースについての追加補足情報

Print Serverの追加補足情報について説明しています。

● Color Profile Maker Pro 操作説明書

Color Profile Maker Proの機能や操作方法について説明しています。マニュアルは、DVDの「CPMP」フォルダーに、PDFで格納されています。ファイル名は、「CPMP_Manual.pdf」です。

本書の表記

本文中では、説明する内容によって、次のマークを使用しています。

注記　注意すべき事項を記述しています。必ずお読みください。

補足　補足事項を記述しています。

参照　参照先を記述しています。

本文中では、次の記号を使用しています。

「　」　フォルダー、ファイル、アプリケーション、CD/DVD、機能などの名称や入力文字などです。また、本書内にある参照先です。

『　』　参照するマニュアルです。

［　］　コンピューター上のメニュー、コマンド、ウィンドウやダイアログボックスとそれらに表示されるタブ、ボタン、メニュー、項目などの名称です。

→　メニューの選択順序です。［XXX］→［XXX］のように記載しています。

〈　〉　キーボードのキーやPrint Serverの操作パネルのボタンです。

【　】　ディスプレイに表示されるメッセージです。

本文中では、以下の文章表現を使用しています。

・「XXX」は任意の文字、「＊」は任意の数字です。

・OSがMac OS® Classic（8.＊、9.＊）とMac OS Xのクライアントコンピューターを「Macintoshクライアント」、OSがMicrosoft Windows＊＊のクライアントコンピューターを「Windowsクライアント」と記載しています。

本書では、一部を除いてMicrosoft® Windows® 7の画面で説明しています。ご使用のOSによっては、メニューや項目などの名称が異なる場合があります。

本書の内容は、本書の制作時点のものです。本書に記載されている画面やイラスト、お問い合わせ先の窓口、ホームページのアドレスなどは、将来予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

安全にご利用いただくために

本機を安全にご利用いただくために、本機をご使用になる前に必ず「安全にご利用いただくために」を最後までお読みください。

お買い上げいただいた製品は、厳しい安全基準、環境基準に則って試験され、合格した商品です。常に安全な状態でお使いいただけるよう、下記の注意事項に従ってください。

⚠警告

新機能の追加や外部機器との接続など、許可なく改造を加えた場合は、保証の対象とならない場合がありますのでご注意ください。詳しくは、担当のサービスセンターへお問い合わせください。

各警告図記号は以下のような意味を表しています	
危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高いと思われる事項があることを示しています。
	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があると思われる事項があることを示しています。
	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負うことが想定される内容および物的損害の発生が想定される事項があることを示しています。

△記号は、製品を取り扱う際に注意すべき事項があることを示しています。指示内容をよく読み、製品を安全にご利用ください。

静電気破損注意　注　意　発火注意　破裂注意　感電注意　高温注意　回転物注意　指挟み注意

⃠記号は、行ってはならない禁止事項があることを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。

禁　止　火気禁止　接触禁止　風呂等での使用禁止　分解禁止　水ぬれ禁止　ぬれ手禁止

●記号は、必ず行っていただきたい指示事項があることを示しています。指示内容をよく読み、必ず実施してください。

指　示　電源プラグを抜け　アース線を接続せよ

電源およびアース接続時の注意

⚠警 告

万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため本機の後方から電源コードとともに出ている緑色のアース線を必ず次のいずれかに取り付けてください。

・電源コンセントのアース端子
・銅片などを850mm以上地中に埋めたもの
・接地工事（D種）を行っている接地端子

アース接続は必ず、「電源プラグを電源につなぐ前に」行ってください。また、アース接続を外す場合は必ず、「電源プラグを電源から切り離してから」行ってください。

ご使用になる電源コンセントのアースをご確認ください。アースが取れない場合や、アースが施されていない場合は、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご相談ください。

次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。

・ガス管（引火や爆発の危険があります。）
・電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です。）
・水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。）

アースとの接続が不十分な場合、感電の原因となるおそれがあります。

万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため、機械にはD種以上の接地工事を必ず実施してください。

電源コードは、機械近くのアースが確実に取れるコンセントに、単独で差し込んでください。延長コードは使わないでください。たこ足配線をしないでください。発熱による火災の原因となるおそれがあります。

電源接続に関してご不明な点がある場合は、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご相談ください。

機械の定格電圧値および定格電流値より容量の大きい電源コンセントに接続して使用してください。機械の定格電圧値および定格電流値は、機械背面パネルの定格銘板ラベルを確認してください。

電源プラグは絶対にぬれた手で触らないでください。感電の原因となるおそれがあります。

電源コードにものを載せないでください。

電源プラグやコンセントに付着したホコリは、必ず取り除いてください。そのまま使用していると、湿気などにより表面に微小電流が流れ、発熱による火災の原因となるおそれがあります。

同梱、または弊社が指定した専用電源コード以外は使用しないでください。発火、感電のおそれがあります。

また、専用電源コードをほかの機器に使用しないでください。

電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、発熱による火災や感電の原因となるおそれがあります。

電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線）、弊社のテレフォンセンターまたは販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となるおそれがあります。

⚠注意

機械の清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに機械の清掃を行うと、感電の原因となるおそれがあります。

機械の電源スイッチを入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。アークによりプラグが変形し、発熱による火災の原因となるおそれがあります。

電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災、感電の原因となるおそれがあります。

連休などで長期間、機械をご使用にならないときは、安全のために電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となるおそれがあります。

1か月に一度は機械の電源スイッチを切り、次のような点検をしてください。

・電源プラグが電源コンセントにしっかり差し込まれているか。
・電源プラグに異常な発熱およびサビ、曲がりなどはないか。
・電源プラグやコンセントに細かいホコリが付いていないか。
・電源コードにきれつや擦り傷などがないか。

異常な点にお気づきの場合はただちに使用を中止し、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。

設置時の注意

⚠ 警告

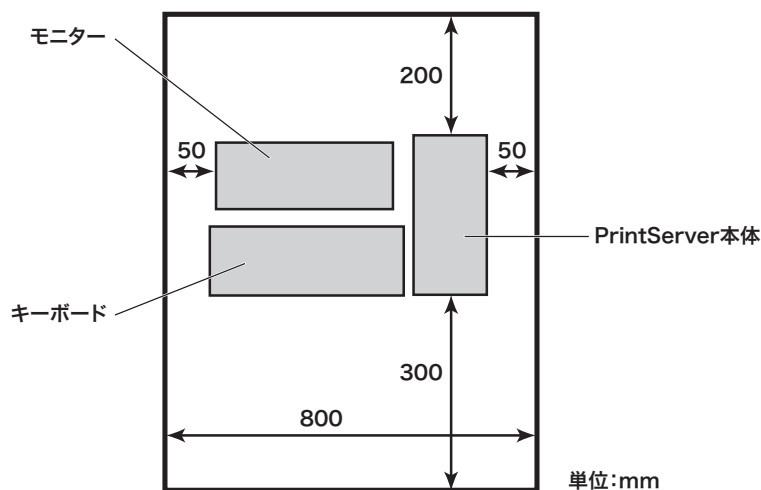
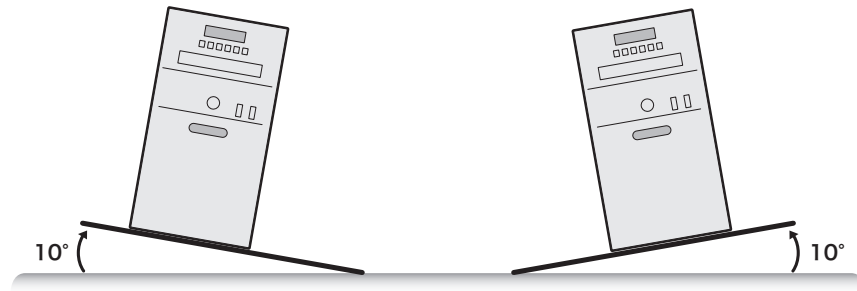
機械は、電源コードの上を人が踏んで歩いたり足で引っ掛けたりするような場所には設置しないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。

⚠ 注意

以下のような場所には機械を設置しないでください。
・発熱器具に近い場所
・揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものの近く
・高温、多湿の場所や換気が悪くホコリの多い場所
・直射日光の当たる場所
・調理台や加湿器のそばなど

機械は、付属製品を含めた総質量16.5kgに耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。機械の転倒などによりケガの原因となるおそれがあります。

機械には通気口があります。機械の通気口をふさがないでください。通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となるおそれがあります。

機械を安全に正しく使用し、機械の性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。また、機器の異常状態によっては、電源プラグをコンセントから抜いていただくことがありますので、設置スペース内に物を置かないでください。

機械を10°以上に傾けないでください。
転倒などによるケガの原因となるおそれがあります。

機器の電線やケーブルを束ねるためにケーブルタイやスパイラルチューブ等を使う場合は、弊社から提供される部品をご利用ください。弊社の提供品以外のご使用は事故の原因となる場合があります。

機械使用上の注意

⚠警告

機械のマニュアルに明記されていない作業は危険ですので、絶対に行わないでください。

この機械はお客様が危険な箇所に触らないよう設計されています。危険な箇所はカバーなどで保護されていますので、ネジで固定されているパネルやカバーなどは、絶対に開けないでください。感電やケガの原因となるおそれがあります。

次のようなときにはただちに使用を中止し、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。そのまま使用を続けると、感電や火災の原因となるおそれがあります。

・機械から発煙したり、機械の外側が異常に熱くなったとき
・異常な音やにおいがするとき
・電源コードが傷ついたり、破損したとき
・ブレーカーやヒューズなど部屋の安全装置が働いたとき
・機械の内部に水が入ったとき
・機械が水をかぶったとき
・機械の部品に損傷があったとき

機械の隙間や通気口に物を入れないでください。また、以下のものは、機械の上に置かないでください。

・花瓶やコーヒーカップなどの液体の入ったもの
・クリップやホチキスの針などの金属類
・重いもの

液体がこぼれたり、金属類が隙間から入り込むと機械内部がショートし、火災や感電の原因となるおそれがあります。

機械の性能の劣化を防ぎ安全を確保するため、清掃には指定されたものをご使用ください。スプレータイプのクリーナーは、引火や爆発の危険がありますので、絶対に使用しないでください。

付属のCD-ROM、またはDVD-ROMを対応プレーヤー以外では絶対に使用しないでください。大音響により耳に障害を被ったり、スピーカーを破損するおそれがあります。

レーザーについて

注意：取扱説明書に書かれていること以外の、カバーを外すなどの操作はしないでください。レーザーの被爆の原因になるおそれがあります。失明、やけどなどの原因となるおそれがあります。

この機械は、レーザーの国際規格IEC60825（Class 1 レーザー機器）に適合しています。このことはレーザー被爆の危険がないことを意味しています。レーザーは機械内部で放射されますが、部品内部の漏洩防止筐体やカバーなどによって内部に閉じ込められています。したがって、お客様のご使用中にレーザーに被爆することはありません。

⚠注 意

機械に貼ってあるラベルの警告や説明には必ず従ってください。

長時間機械を使用するときは、1時間ごとに10～15分の休憩をとり、目および手を休めてください。

規制について

電磁波障害対策自主規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

VCCI基準への適合を維持するため、本機にはかならずシールドタイプのケーブルを使用してください。

受信障害について

ラジオの雑音、テレビなどの画面に発生するチラツキ、ゆがみが本機による影響と思われましたら、本機の電源スイッチをいったん切ってください。

電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。

・本機とラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
・本機とラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
・この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
・受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。（アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください）
・ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

高調波自主規制について

本機器はJIS C 61000-3-2（高調波電流発生限度値）に適合しています。

法律上の注意事項

1. 本物と偽って使用する目的で次の通貨や有価証券を複製することは、犯罪として厳しく処罰されます。
   - 紙幣（外国紙幣を含む）、国債証書、地方債証書、郵便為替証書、郵便切手、印紙。
     これらは、本物と偽って使用する意図がなくても、本物と紛らわしいものを作ること自体が犯罪になります。
   - 株券、社債、手形、小切手、貨物引換証、倉荷証券、クーポン券、商品券、鉄道乗車券、定期券、回数券、サービス券、宝くじ・勝馬投票券・車券の当たり券などの有価証券。

2. 次の文書や記名捺印などを複製・加工して、正当な権限なく新たな証明力を加えることは、犯罪として厳しく処罰されます。
   - 各種の証明書類など、公務員または役所を作成名義人とする文書・図面。
   - 契約書、遺産分割協議書など私人を名義人とする権利義務に関する文書。
   - 推薦状、履歴書、あいさつ状など、私人を名義人とする事実証明に関する文書。
   - 役所または公務員の印影、署名、記名。
   - 私人の印影または署名。

3. 著作権が存在する書籍、新聞、雑誌、冊子、絵画、図画、版画、図面、地図、写真、映像、映画、音楽、コンピュータープログラムなどの著作物は、権利者の許諾なく、次の行為はできません。

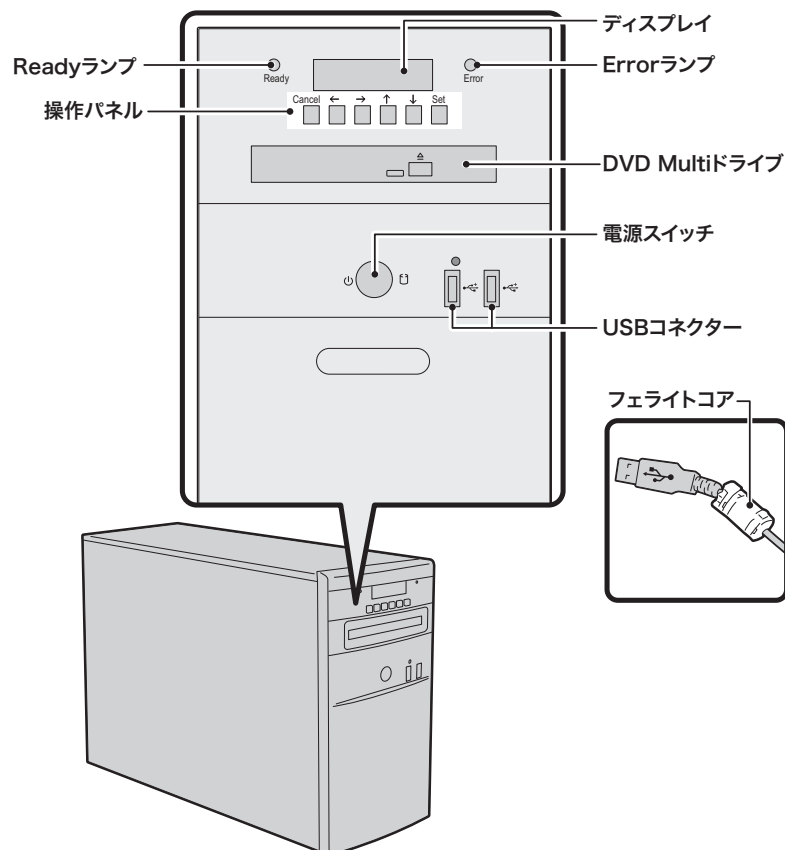
   （1）複製　紙に定着させた著作物を複写機でコピーすること、磁気テープに記録した映像や音楽をダビングすること、電子的に読み取った著作物のデータをハードディスクや外部メディアに記録すること、記録した著作物のデータをプリンターで出力すること、ネットワークを介してダウンロードすることなど。

   （2）改変　紙に定着させた著作物を加工や修正すること、電子的に読み取った著作物のデータを切除、書き換え、切り貼りすることなど。

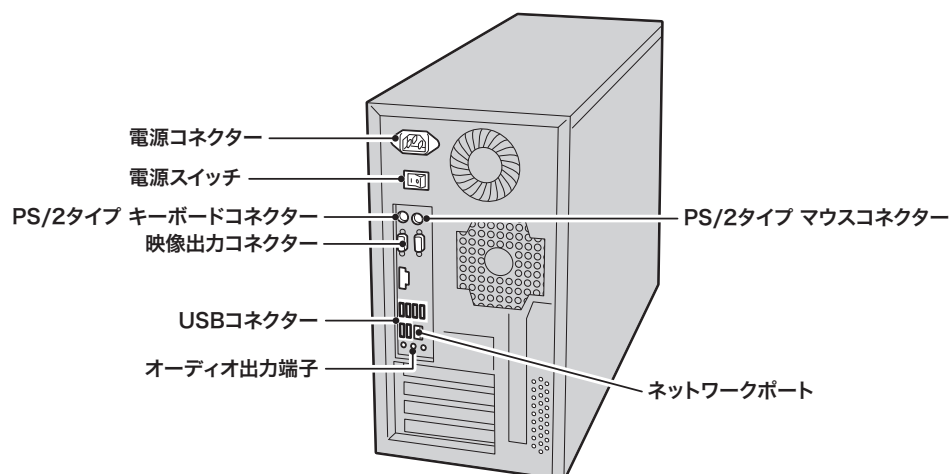
   （3）送信　電子的に読み取った著作物のデータを公衆の電気通信回線（インターネットを含む）を通じてファクシミリや電子メールで送信すること、ホームページへの掲載など、公衆の電気通信回線に接続したネットワークサーバーに著作物のデータを搭載することなど。

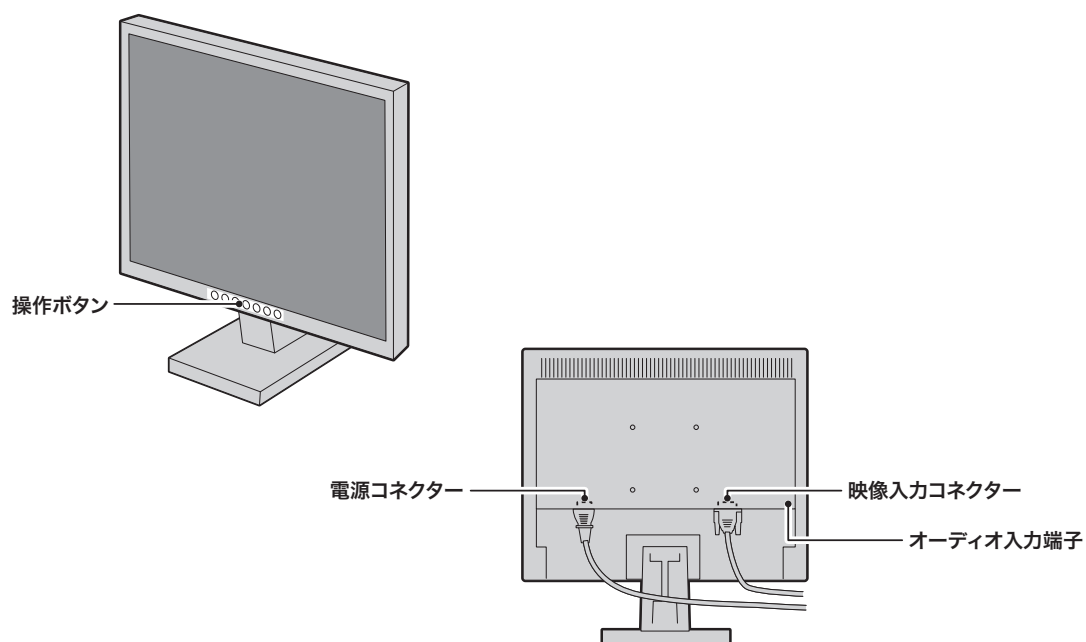
   権利者の許諾なく複製・改変・送信したときは、使用の差止、損害賠償の請求、刑事罰を受けることがあります。ただし、次の場合は例外的に権利者の許諾なく著作物を複製することができます。
   - 個人的または家庭内、その他これに準ずる生活範囲での私的な使用を目的とした複製。
   - 国立図書館、私立図書館、学校付属施設、公立の博物館、公立の各種資料センター、公益目的の研究機関など、公衆利用への提供を目的とする図書館等における複製。
   - 公正な慣行に合致し、報道・批評・研究など、目的を照らして、正当な範囲内での引用。
   - 国、または地方公共団体が発行する公報資料・調査統計資料・報告書の新聞・雑誌・その他刊行物への転載。ただし、複製禁止の表示がある著作物は除かれます。
   - 学校教科書への掲載。ただし、権利者への補償金が必要です。
   - 学校その他教育機関における複製。ただし、種類・用途・部数・態様に照らして、権利者の利益を不当に害しない範囲内に限ります。
   - 試験問題としての複製。ただし、権利者への補償金が必要です。

各部の名称

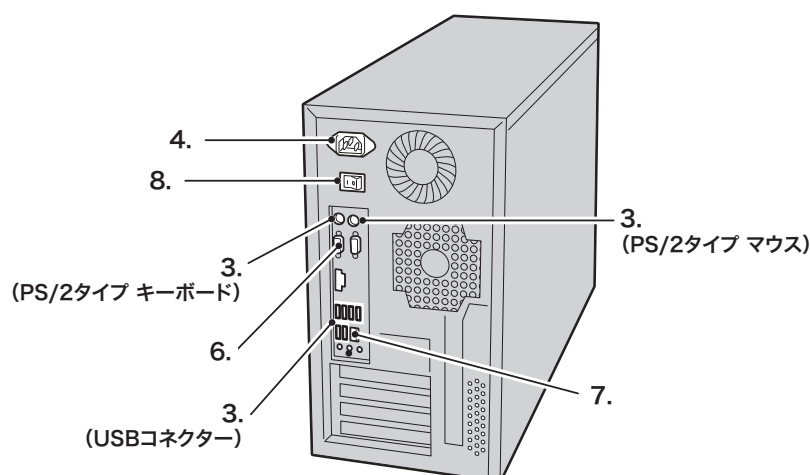
■Print Server本体（正面）

名称		働き
ディスプレイ		正常に動作している状態では【Print Server】、システムの起動中は【オマチクダサイ】と表示されます。
Readyランプ		Print Serverでプリント処理ができる状態のときに点灯します。 ウォームアップ中のときに点滅します。
Errorランプ		点灯、または点滅している場合、システムが正常に起動していません。
操作パネル		Prrint Serverの設定、サービスの停止などができます。 補足 各ボタンは、押し続けている間、項目が次々と選択されます。
	Setボタン	・項目を選択、または決定します。 ・本書では、〈Set〉ボタンで表します。
	上下左右ボタン	・項目を選択します。 ・本書では、〈↑〉〈↓〉〈←〉〈→〉ボタンで表します。
	Cancelボタン	・直前に行った操作がキャンセルされます（項目が1つ前に戻ります)。 ・本書では、〈Cancel〉ボタンで表します。

- 正面のUSBコネクターにマウスなどのケーブル機器を接続するときは、同梱のフェライトコアを取り付けてください。接続する機器によっては、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）のクラスBを満たさないことがあります。
- DVDドライブのトレイを開けたままにしないでください。ゴミやほこりにより、ドライブが壊れるおそれがあります。
- 静電気を除去してから、メディアを挿入してください。

■Print Server本体（背面）

注記　ネットワークケーブルは、シールド付き（3m）のものを使用してください。ケーブルによっては、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）のクラスBを満たさないことがあります。

■モニター

補足　モニターとキーボードはオプションです。

参照　モニターの操作については、モニターに付属のマニュアルを参照してください。

システムの接続

1. Print Server本体、およびモニター（接続する場合だけ）を設置する場所に移動します。

参照 Print Serverの設置については、「設置時の注意」（P.10）を参照してください。

2. キーボード/マウス（接続する場合だけ）なども設置する場所に移動します。

3. キーボード/マウスをPrint Server本体のUSBコネクター、またはPS/2コネクターに接続します。

4. Print Serverの電源コードをPrint Server本体背面の電源コネクターに接続し、電源プラグをコンセントに差して、アース線を接続します。

5. モニター（接続する場合だけ）の電源コードをモニター背面の電源コネクターに接続し、電源プラグをコンセントに差します。

6. モニターとPrint Server本体を映像ケーブルで接続します。
一方の端をPrint Server本体背面の映像出力コネクターに接続し、もう一方をモニター背面の映像入力コネクターに接続して、ケーブルが抜けないようにねじを締めます。

7. イーサネットに接続するネットワーク用のケーブルをPrint Server本体背面のネットワークポートに接続します。

8. 背面の電源スイッチの<｜>（入）側を押して、電源を入れます。

9. Print Serverを起動します。

参照 Print Serverの起動については、「Print Serverの起動」（P.18）を参照してください。

以上で、システムの接続は終了です。

電源オフ作業

1. Print Serverを停止します。

参照 Print Serverの停止については、「Print Serverの停止」（P.19）を参照してください。

2. 背面の電源スイッチの<○>（切）側を押して、電源を切ります。

3. Print Server に接続されているケーブル類（電源コード、ネットワーク用ケーブル、映像ケーブル、USB、またはPS/2）をすべて抜きます。

電源オフ作業（Print Serverの移動、リカバリー、メモリーの取り付け）は、この状態で行ってください。

Print Serverの起動と停止

Print Serverのソフトウエア（Fuji Xerox Print Server Service）は、Windows 7で動作します。

Fuji Xerox Print Server Serviceは、Windows 7を起動したときに自動で開始するように設定されているため、通常はWindows 7が起動した時点でプリントできます。

ServerManagerを起動しなくても、Print Serverを停止しない限り、クライアントコンピューターからのプリント、およびWebManagerなどは処理されます。

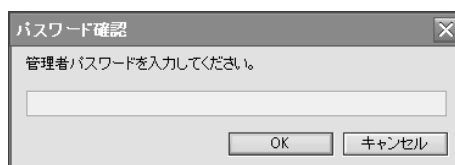
Print Serverの起動

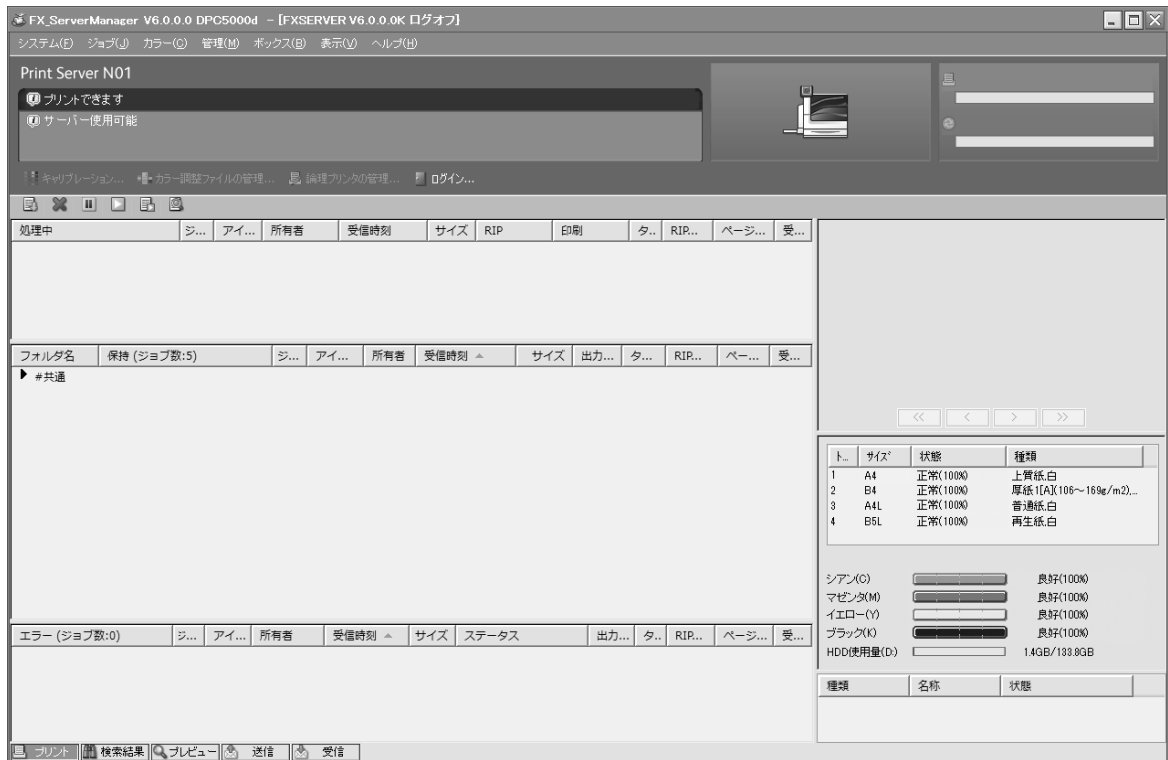
操作手順

1. プリンターの電源を入れます。

プリンターの電源の入れ方については、プリンターに同梱されているマニュアルを参照してください。

2. モニター（接続する場合だけ）の電源を入れます。
3. Print Server正面の電源スイッチを押します。

   Print Serverが起動し、Windows 7に自動的にログインされます。
4. 購入後にはじめてPrint Server を起動したときは、ServerManagerの起動前に、管理者用パスワードを入力する［パスワード確認］ダイアログボックスが表示されますので、パスワードを設定します。

- このダイアログボックスがServerManager ウィンドウの後ろに隠れてしまうことがあります。この場合は、Windows のタスクバーに表示されているアプリケーションのボタンをクリックして、ウィンドウを切り替えてください。
- モニター未接続時は、リモートデスクトップ接続でパスワードを設定してください。リモートデスクトップ接続については、「リモートデスクトップ接続」（P.21）を参照してください。

5. ServerManagerが起動します。
パスワード設定後は、Print Serverを起動すると、続けてServerManagerも起動します

- デフォルトでは、ログオフ状態で起動します。ログオフ状態でも、ジョブの参照とステータスの確認はできますが、ジョブの操作や設定をするには、ログインする必要があります。
- ログイン状態で起動するようにすることもできます。ユーザー管理については、『ユーザーズガイド導入編』の該当箇所を参照してください。

Print Serverの停止

■モニター接続時

Windowsの［スタート］→［シャットダウン］を選択します。

Print ServerのソフトウエアであるFuji Xerox Print Server Serviceが停止され、Windowsがシャットダウンされます。

Print Server正面の電源スイッチを押し続けたり、背面の電源スイッチを押したりして、電源を切らないでください。
強制的に電源を切ると、トラブルの原因となります。

■モニター未接続時

リモートデスクトップ接続をしているときは、管理者モードでログインし、ServerManager の［システム］→［サーバー］→［シャットダウン］を選択すると、Print Serverを停止することができます。
リモートデスクトップ接続については、「リモートデスクトップ接続」（P.21）を参照してください。

1. 〈Set〉ボタンを押します。
本体のディスプレイに「メニュー　システム　セッテイ」と表示されます。
2. 〈↓〉ボタンを押します。
本体のディスプレイに「メニュー　システム（ＰＣ）ノ　ＯＦＦ／ＯＮ」と表示されます。
3. 〈Set〉ボタンを押します。
本体のディスプレイに「システム（ＰＣ）ノ　ＯＦＦ／ＯＮ　シャットダウン」と表示されます。

このとき、〈↑〉、または〈↓〉ボタンを押すと、本体のディスプレイに「システム（ＰＣ）ノ　ＯＦＦ／ＯＮ　サイキドウ」と表示され、再起動することもできます。もう一度ボタンを押すと、シャットダウンの表示に戻ります。

4. 〈Set〉ボタンを押します。
本体のディスプレイに「シャットダウン　シテモ　ヨロシイ　デスカ？　Ｙ　Ｎ」と表示されます。

再起動を選択したときは、「サイキドウ　シテモ　ヨロシイ　デスカ？　Ｙ　Ｎ」と表示されます。

5. 〈←〉ボタンを押します。
6. 〈Set〉ボタンを押します。
Print Serverのソフトウエアである Fuji Xerox Print Server Serviceが停止され、Windowsがシャットダウンされます。

Print Server正面の電源スイッチを押し続けたり、背面の電源スイッチを押したりして、電源を切らないでください。
強制的に電源を切ると、トラブルの原因となります。

リモートデスクトップ接続

モニターが接続されていないときは、Print Serverの操作パネルでIPアドレスの設定をすると、クライアントコンピューターからリモートデスクトップ接続でPrint Serverを操作することができます。

IPアドレスの設定

操作パネルに「Print Server」と表示されていることを確認してください。違う表示になっている場合、ボタンを押す回数が異なります。

■自動取得

1. 〈Set〉ボタンを４回押します。
   本体のディスプレイに「ＩＰアドレス　シテイ」と表示されます。
2. 〈↓〉ボタンを押します。
   本体のディスプレイに「ジドウ（ＤＨＣＰ）」と表示されます。
3. 〈Set〉ボタンを押します。

補足　すでに手動でIPが設定されている場合、〈Set〉ボタンをもう１回押します。

本体のディスプレイに「ネットワーク　セッテイ　シマシタ」と表示されます。

■手動設定

1. 〈Set〉ボタンを５回押します。
   本体のディスプレイに「ＩＰアドレス　シテイ＊」と表示されます。
2. IPアドレスを設定します。
   〈←〉〈→〉ボタンで入力箇所を移動し、〈↑〉〈↓〉ボタンで数値を変更します。
3. 〈Set〉ボタンを押します。
4. サブネットマスクを設定します。
   〈←〉〈→〉ボタンで入力箇所を移動し、〈↑〉〈↓〉ボタンで数値を変更します。
5. 〈Set〉ボタンを押します。
6. ゲートウェイアドレスを設定します。
   〈←〉〈→〉ボタンで入力箇所を移動し、〈↑〉〈↓〉ボタンで数値を変更します。
7. 〈Set〉ボタンを押します。
   本体のディスプレイに「セッテイヲカクテイシテモ　ヨロシイデスカ？　Ｙ　Ｎ」と表示されます。
8. 〈Set〉ボタンを押します。
   本体のディスプレイに「ネットワーク　セッテイ　シマシタ」と表示されます。

■IPアドレスの確認

1. 〈Set〉ボタンを4回押します。
   本体のディスプレイに「ＩＰアドレス　シテイ」と表示されます。
2. 〈↓〉ボタンを2回押します。
   本体のディスプレイに「ＩＰアドレスノ　カクニン」と表示されます。
3. 〈Set〉ボタンを押します。
   IPアドレスが表示されます。
   〈→〉ボタンを押すと、サブネットマスクとゲートウェイアドレスも確認できます。

リモートデスクトップ接続

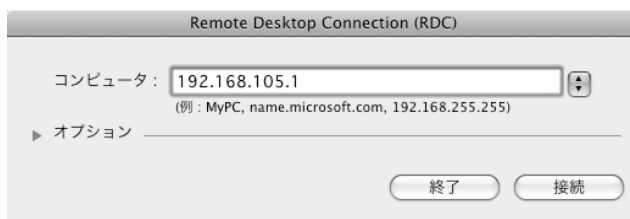
Print Serverを操作するために、クライアントコンピューターからリモートデスクトップで接続します。

■Macintoshクライアント

Mac OS X 10.5.8以降のOSで、「Microsoft Remote Desktop Connection Client for Mac 2.1.1」を使用してリモートデスクトップ接続ができます。
以下のURLにアクセスして、ダウンロードしてください。
http://www.microsoft.com/japan/mac/downloads

ここでは、Mac OS X 10.5.8で「Microsoft Remote Desktop Connection Client for Mac 2.1.1」を設定する手順を例に説明します。

操作手順

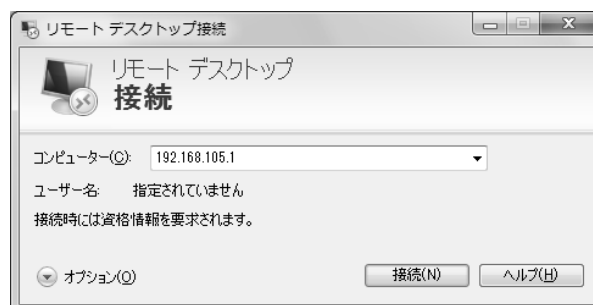
1. ［アプリケーション］フォルダーを開き、［Remote Desktop Connection］を開きます。
   ［Remote Desktop Connection］フォルダーはインストール時に作成されます。
2. ［Remote Desktop Connection］をダブルクリックします。
   Remote Desktop Connectionが起動します。
3. ［コンピュータ］にPrint ServerのIPアドレスを入力します。

4. ［接続］をクリックします。
5. 管理者権限のあるユーザー名でログインします。

管理者権限のあるユーザー名は「PXServer」、パスワードは「n01_printserver」に設定されています。

■Windowsクライアント

ここでは、Windows 7でリモートデスクトップ接続を設定する手順を例に説明します。

操作手順

1. Windows の［スタート］→［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［リモートデスクトップ接続］を選択します。
2. ［コンピューター］にPrint ServerのIPアドレスを入力します。

3. ［接続］をクリックします。
4. 管理者権限のあるユーザー名でログインします。

管理者権限のあるユーザー名は「PXServer」、パスワードは「n01_printserver」に設定されています。

セットアップ時の障害対応

Print Serverのセットアップや接続のときに発生することがある主な障害について、対処方法を説明します。

状況	対処方法
Print Server を設置したあと、電源スイッチを押しても起動しない	・Print Serverに電源コードが正しく接続されていること、および電源プラグが使用できるコンセントに接続されていることを確認してください。 ・接続できるケーブルがほかにある場合は、Print Serverのものと交換し、起動するかどうかを確認してください。
Print Server が起動しているようだが、モニターに何も表示されない	・モニターに電源コードが接続されていること、および電源プラグが使用できるコンセントに接続されていることを確認してください。 ・モニターケーブルの両端が正しく接続されていることを確認してください。 ・モニターの電源が入っている（前面のグリーンのランプが点灯している）ことを確認してください。グリーンのランプが点灯していない場合は、モニターの電源スイッチを入れてください。 ・接続できるモニターがほかにある場合は、Print Serverのものと交換し、正常に表示されるかどうかを確認してください。
Print Server は起動するが、キーボードとマウスが正しく動かない	・キーボードとマウスが正しく接続されていることを確認してください。 ・接続できるキーボード、およびマウスがほかにある場合は、Print Serverのものと交換し、正常に動作するかどうかを確認してください。

Print Serverの設定

Print Serverを起動したら、ネットワーク環境の設定をします。
また、システムを再インストールした場合は、ネットワーク環境も再設定が必要です。

TCP/IPの設定

TCP/IPの設定を始める前に、以下の点を確認してください。
・Print ServerのIPアドレスが固定IPアドレスである（動的割り当てでない）こと
・有効なアドレス情報（IPアドレス、サブネットマスク番号など）をネットワーク管理者から確認済みであること

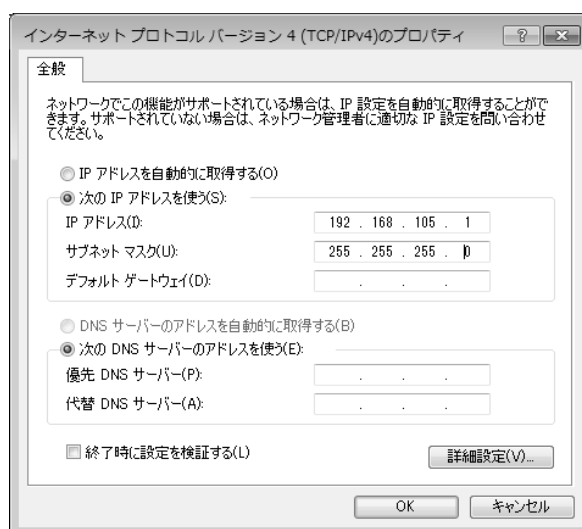
操作手順

1. Windowsの［スタート］→［コントロールパネル］を選択します。
2. ［ネットワークと共有センター］をクリックします。

3. ［ローカル エリア接続］をクリックします。

4. ［プロパティ］をクリックします。

5. コンポーネントの［インターネット プロトコル バージョン 4（TCP/IPv4)］をダブルクリックします。

6. [次のIPアドレスを使う] を選択し、[IPアドレス] にPrint ServerのIPアドレスを入力し、[OK] をクリックします。

必要に応じて、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、およびDNSのアドレスを入力します。

7. [ローカル エリア接続のプロパティ] ダイアログボックスで、[OK] をクリックします。

Print ServerでTCP/IPが有効になります。

補足 Print Serverは IPv6 には対応していません。

8. Windowsの [スタート] → [コントロールパネル] を選択します。

9. [Windows Update] をクリックします。

10. 左側のメニューから［設定の変更］をクリックします。

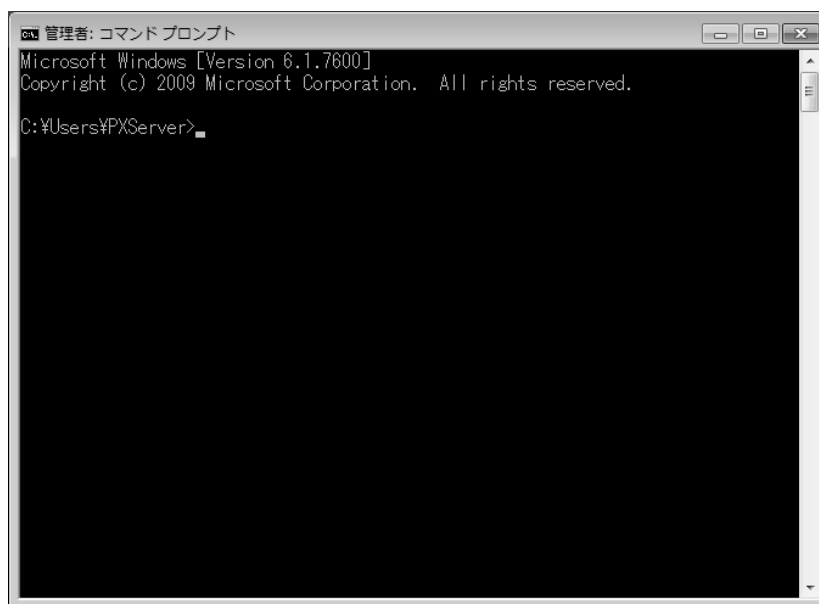
11. ［重要な更新プログラム］で、［更新プログラムを確認しない（推奨されません）］を選択して、［OK］をクリックします。

12. Print Serverを再起動します。

Windows 7のアカウント管理

サーバー管理への不正アクセスを防止するために、管理者権限のあるユーザーのパスワードを設定します。パスワードを設定すると、Print Server の起動時に Windows 7 のログインダイアログボックスで、パスワードの入力が必要になります。

操作手順

1. Windowsの［スタート］→［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［コマンドプロンプト］を選択します。
2. 「start control userpasswords2」と入力し、〈Enter〉キーを押します。

3. ［ユーザーアカウント］ダイアログボックスで、〈Ctrl〉キーと〈Alt〉キーを同時に押しながら、〈Delete〉キーを押します。

4. ［パスワードの変更］をクリックします。

［パスワードの変更］画面が表示されます。

5. ［古いパスワード］に既存の管理者権限のあるユーザーのアカウントのパスワードを入力し、［新しいパスワード］に新しい管理者権限のあるユーザーのアカウントのパスワードを入力します。

補足 管理者権限のあるユーザー（「PXServer」）のパスワードのデフォルトは、「n01_printserver」です。

6. 確認のため［新しいパスワードの確認入力］に同じパスワードを入力し、<Enter>キーを押します。

7. ［OK］をクリックします。

8. ［ユーザーアカウント］ダイアログボックスで、［OK］をクリックします。

「PXServer」アカウントのパスワードの変更が有効になります。

続いて、使用するネットワークに応じて、環境を設定します。

参照 パスワード変更の詳細は、Windowsのオンラインヘルプを参照してください。Windowsのオンラインヘルプは、タスクバーの［スタート］をクリックして表示される［ヘルプとサポート］を選択すると、表示されます。

コンピューター名の設定

操作手順

1. Windowsの［スタート］→［コンピューター］で右クリックし、［プロパティ］を選択します。

2. ［設定の変更］をクリックします。

3. ［コンピューター名］タブの［変更］をクリックします。

4. ［コンピューター名］にコンピューター名を入力します。

ドメインやワークグループ名も設定できます。［所属するグループ］で［ドメイン］、または［ワークグループ］を選択して、名称を入力します。

5. ［OK］をクリックします。

プリンター設定

操作手順

1. Windowsの［スタート］→［すべてのプログラム］→［Fuji Xerox］→［Print Server PX］→［FX ServerManager］を選択します。

   ServerManagerが起動します。

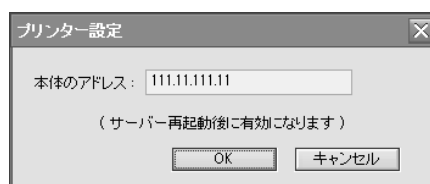
2. ［ログイン］をクリックし、［ログイン］ダイアログボックスから、管理者モードでログインします。

   - ServerManagerの［システム］→［ログイン］を選択しても、［ログイン］ダイアログボックスを表示できます。
   - パスワードは「Print Serverの起動」（P.18）で設定したものを入力します。

3. ServerManagerの［システム］→［初期設定］→［プリンター設定］を選択します。

4. ［本体のアドレス］にプリンターのIPアドレス（＊＊＊.＊＊＊.＊＊＊.＊＊＊形式）、またはDNS名を入力します。

   補足
   - 常にプリンター側の設定と一致している必要があります。プリンター側の設定を変更したときは、同様に変更してください。
   - 変更した設定は、Print Serverを再起動するまで有効になりません。

   参照　プリンター情報の表示については、プリンターに同梱されているCD内の『ユーザーズガイド』を参照してください。

5. ［OK］をクリックします。

ポート開放の設定

Print Serverでは以下のネットワークポートを使用します。

入力側：WWW、ftp、DNS、DHCP、LPR、Ping、Bonjour、リモートデスクトップ、リモートサーバーマネージャー、SNMPトラップサービス

出力側：すべてのポート

セキュリティ対策のため、デフォルトでは、NetBIOS over TCP/IP ポートやAFP over TCP/IP ポートは閉じています。そのため、以下の機能は使用できません。

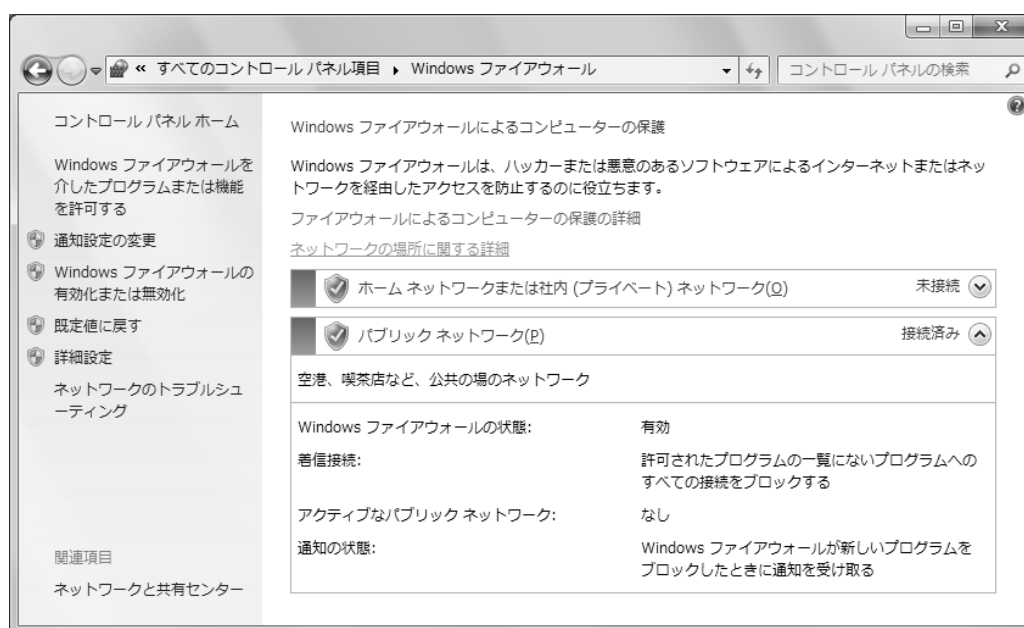
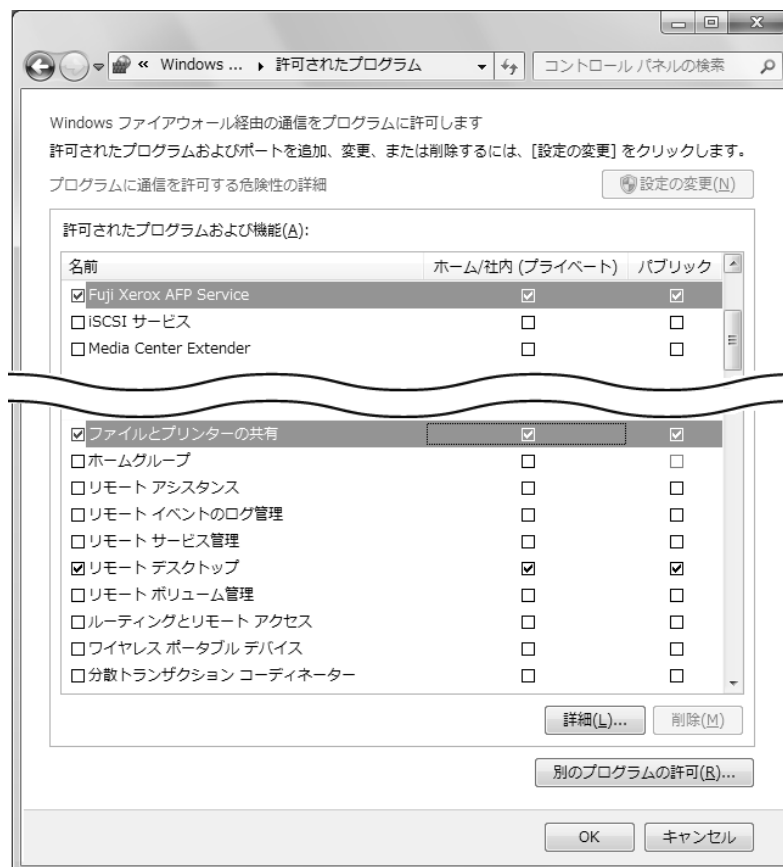
・Windowsネットワーク共有プリンタ

・ホットフォルダのWindowsネットワーク共有、およびAFP over TCP共有

・TIFF フォルダのWindowsネットワーク共有、およびAFP over TCP共有

これらの機能を使用する場合は、ネットワーク管理者と相談のうえ、以下の手順で設定を変更します。

操作手順

1. Windows の［スタート］→［コントロールパネル］を選択します。
2. ［Windows ファイアウォール］をクリックします。
3. ［Windows ファイアウォールを介したプログラムまたは機能を許可する］をクリックします。

4. ［Fuji Xerox AFP Service］と［ファイルとプリンターの共有］にチェックマークを付けます。

5. Print Serverを利用するネットワークに合わせて、［ホーム/社内（プライベート）］と［パブリック］のいずれか、または両方にチェックマークを付けます。

6. ［OK］をクリックします。

ネットワークの設定

Macintoshクライアント用のプロトコル設定と論理プリンタの作成

Print ServerがMacintoshクライアントからのジョブを受信するためには、以下の設定が必要です。

「■AppleTalkプロトコルの設定」（P.33）
「■共有フォルダの設定」（P.36）
「■ServerManagerの設定」（P.37）

■AppleTalkプロトコルの設定

AppleTalkプリンターや、AppleTalkによるAFP（Apple Filing Protocol）サービスを使用する場合は、以下の設定が必要です。

操作手順

1. Print Serverデスクトップの「AppleTalk設定ツール」アイコンをダブルクリックします。

AppleTalk設定ツールが起動します。

［スタート］→［すべてのプログラム］→［Fuji Xerox］→［AppleTalk 設定ツール］を選択しても、AppleTalk設定ツールを起動できます。

2. 各項目を設定し、［OK］をクリックします。

各項目の詳細は、「［AppleTalk設定ツール］ダイアログボックス」（P.34）を参照してください。

[AppleTalk 設定ツール]ダイアログボックス

[AppleTalk設定ツール]ダイアログボックスでは、以下の項目を設定できます。

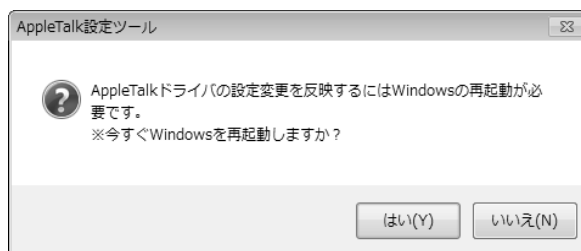
項目		説明
サーバ名		AppleTalk ネットワークで表示される Print Server のコンピューター名が表示されます。 補足 [サーバ名]を変更する場合は、Print Serverのコンピューター名を変更してください。
ネットワーク		AppleTalkプロトコルで接続するためのネットワークポートを設定します。 有効なネットワークを選択します。
AppleTalkゾーン		[ネットワーク]で設定されたネットワークポートで、AppleTalkゾーンが検出された場合にゾーンが表示されます。 メニューに複数のゾーンがある場合は、使用するゾーンを選択します。
共有設定	共有フォルダ1～5の設定	共有するローカルフォルダーの有効/無効を設定します。チェックマークを付けると、フォルダーが有効になります。設定できるフォルダーは最大5個で、デフォルトでは、以下のフォルダーが設定されています。 ・共有フォルダ1 D:¥Fuji Xerox¥Print Server PX¥work¥Tiff ・共有フォルダ2 D:¥Fuji Xerox¥Print Server PX¥work¥HotFolder フォルダーの詳細設定は、[共有フォルダ＊の設定(＊)]をクリックして表示される[共有フォルダ＊の設定]ダイアログボックスで行います。 参照 [共有フォルダ＊の設定]ダイアログボックスについては、「[共有フォルダ＊の設定]ダイアログボックス」(P.35)を参照してください。
	AFP over AppleTalkでフォルダ共有する	チェックマークを付けると、AppleTalkプロトコルでAFP共有が行われます。 Mac OS 9.2.2 ～ Mac OS X 10.3 のクライアントコンピューターから共有フォルダを使う場合も、チェックマークを付けます。 補足 Mac OS X 10.4 以降のクライアントコンピューターでは、AFP over AppleTalkはサポートしていません。AFP over TCPを使用してください。
	AFP over TCPでフォルダ共有する	チェックマークを付けると、TCP/IPプロトコルで、AFP共有が行われます。 Mac OS X 10.4 以降のクライアントコンピューターから共有フォルダを使う場合も、チェックマークを付けます。 参照 デフォルトでは、AFP over TCP で使用するポート番号「548」は閉じているため、ポートを開放する必要があります。ポートの開放方法については、「ポート開放の設定」(P.31)を参照してください。
リンクアップから AARP 開始までの秒数		ネットワークで「スパニングツリー・プロトコル(Spanning Tree Protocol)」が使用されている場合、スパニングツリーの再構築処理と AppleTalk アドレスの割り当て、およびネットワークの検索などが重なると、必要なパケットが失われてしまうことがあります。この対策として、起動後最初のリンクアップからAARPを開始するまでの時間を入力します。入力範囲は、0～120です。

［共有フォルダ＊の設定］ダイアログボックス

［共有フォルダ＊の設定］ダイアログボックスでは、以下の項目を設定できます。

［＊］には任意の数字が入ります。

項目	説明
ゲストアクセスを許可	チェックマークを付けると、クライアントコンピューターからゲストアクセスが行われます。 チェックマークを外すと、クライアントコンピューターからのアクセス時には、ユーザー名 / パスワードの入力が必要です。ユーザー名 / パスワードは、Windowsのユーザー名/パスワードを入力します。 補足 Mac OS X 10.5 以降のクライアントコンピューターからアクセスする場合、ユーザー名/パスワードによる認証には対応していませんので、ゲストアクセスを許可してください。
共有するフォルダパス	AFPサービスで共有するフォルダーを設定します。 設定を変更するには、［選択］をクリックして表示される［フォルダの参照］ダイアログボックスで、フォルダーを選択して［OK］をクリックします。
共有名を別に設定	チェックマークを付けたときは、クライアントコンピューターから見える共有フォルダに、共有フォルダの共有名と異なる名称を設定して、［共有名］に名称を入力します。 チェックマークを外すと、［共有するフォルダパス］で設定したフォルダー名の先頭27バイトが共有名として設定されます。
共有名	［共有名を別に設定］にチェックマークが付いている場合に入力します。クライアントコンピューターからのアクセス時に表示される共有名を入力します。

3. ［はい］をクリックします。

Print Serverが再起動します。

- 設定内容によっては、ダイアログボックスが表示されないことがあります。
- ［いいえ］をクリックした場合、変更した設定は再起動するまで有効になりません。

Print Serverが所属するAppleTalkのゾーンが設定されます。

続いて、共有フォルダの設定を行います。

■共有フォルダの設定

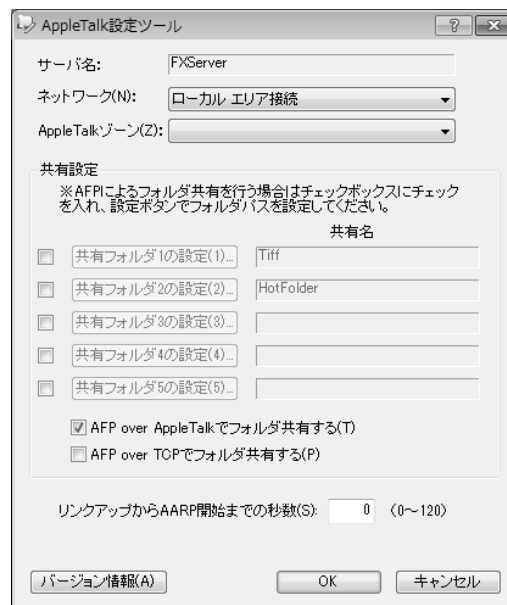
AFPサービスによるフォルダー共有を行う場合、以下の設定が必要です。
AFPサービスは、AppleTalkプロトコルとTCPプロトコルのどちらか、または両方で動作します。

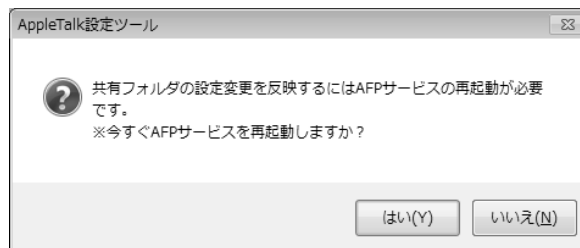
操作手順

1. Print Serverデスクトップの「AppleTalk設定ツール」アイコンをダブルクリックします。

AppleTalk設定ツールが起動します。

補足 ［スタート］→［すべてのプログラム］→［Fuji Xerox］→［AppleTalk 設定ツール］を選択しても、AppleTalk設定ツールを起動できます。

2. 各項目を設定し、［OK］をクリックします。

参照 各項目の詳細は、「［AppleTalk設定ツール］ダイアログボックス」（P.34）を参照してください。

3. ［はい］をクリックします。

AFPサービスが再起動します。

補足 ［いいえ］の場合、変更した設定は、AFPサービスを再起動するか、Print Serverを再起動するまで有効になりません。

■ServerManagerの設定

ServerManagerでAppleTalkを起動します。

操作手順

1. Windowsの［スタート］→［すべてのプログラム］→［Fuji Xerox］→［Print Server PX］→［FX ServerManager］を選択します。

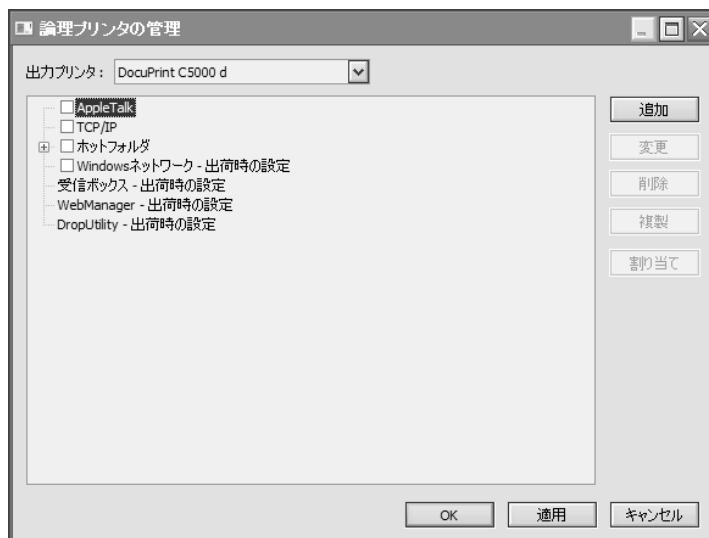
   ServerManagerが起動します。

2. ［ログイン］をクリックし、［ログイン］ダイアログボックスから、管理者モードでログインします。

- ServerManagerの［システム］→［ログイン］を選択しても、［ログイン］ダイアログボックスを表示できます。
- パスワードは「Print Serverの起動」（P.18）で設定したものを入力します。

3. ［論理プリンタの管理］をクリックします。

補足　ServerManagerの［管理］→［論理プリンタの管理］を選択しても、［論理プリンタの管理］ダイアログボックスを表示できます。

4. ［AppleTalk］を選択して、［追加］をクリックします。

5. ［起動中］にチェックマークが付いていることを確認し、AppleTalk　からプリントするときは、［プリンタ名］に使用するプリンター名を入力し、［OK］をクリックします。

参照　［論理プリンタの追加］ダイアログボックスについては、「［論理プリンタの追加］ダイアログボックス」（P.38）を参照してください。

6. ［論理プリンタの管理］ダイアログボックスで、［OK］をクリックします。

7. ServerManagerのネットワーク状態ウィンドウに、「AppleTalk」が表示されていることを確認します。

Macintoshクライアントからのジョブを受信できます。

［論理プリンタの追加］ダイアログボックス

AppleTalk、TCP/IP、およびホットフォルダの追加時に表示される、［論理プリンタの追加］ダイアログボックスでは、以下の項目を設定できます。

補足　設定できるプリンターの数は、AppleTalkは最大50、TCP/IPは最大20です。

項目	説明
起動中	論理プリンタを起動します。
プリンタ名 / フォルダ名	プリンター名（フォルダー名）を入力します。 補足 ・プリンター名には「FXPSPX」をお勧めします。 ・同一ゾーン、または同一ネットワーク内でプリンターを複数設定している場合は、異なるプリンター名を付けてください。
lpr のコントロールファイルを無視する	チェックマークを付けると、lpr のジョブを受信するときに、コントロールファイルが無視されます。 データファイルを受信しながらRIP処理をするときも、チェックマークを付けます。 補足 ・この項目は、TCP/IPの場合だけ表示されます。 ・チェックマークを付けると、PostScriptファイル内の記述から所有者名、およびジョブ名が入手され、ServerManager やプリント履歴に表示されます。 ・UNIX システムから lpr でプリントした場合は、ジョブデータのうちデータファイルが先に送られ、次にコントロールファイルが送られます。この場合、Print Serverではデータファイルとコントロールファイルの両方を受信してからRIPが開始されますが、チェックマークを付けると、コントロールファイルを待たずに、RIP処理が行われます。 ・PostScript/PDF/EPS/TIFF/JPEGファイルをプリントする場合、コントロールファイルはプリント時に必要ありません。
フォルダを共有する	チェックマークを付けると、フォルダーが共有されます。 補足　この項目は、ホットフォルダの場合だけ表示されます。

■TCP/IP用の論理プリンタの作成

Print ServerがTCP/IPクライアントからのLPR/LPDジョブ、およびホットフォルダを利用したFTPからのジョブを受信するためには、以下の論理プリンタの設定が必要です。

操作手順

1. Windowsの［スタート］→［すべてのプログラム］→［Fuji Xerox］→［Print Server PX］→［FX ServerManager］を選択します。

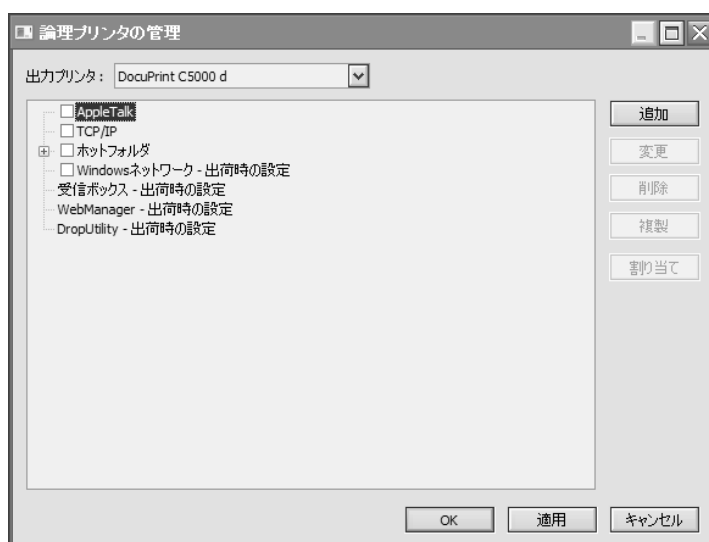
ServerManagerが起動します。

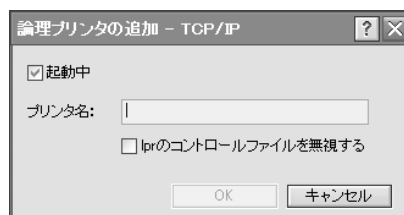
2. ［ログイン］をクリックし、［ログイン］ダイアログボックスから、管理者モードでログインします。

- ServerManagerの［システム］→［ログイン］を選択しても、［ログイン］ダイアログボックスを表示できます。
- パスワードは「Print Serverの起動」（P.18）で設定したものを入力します。

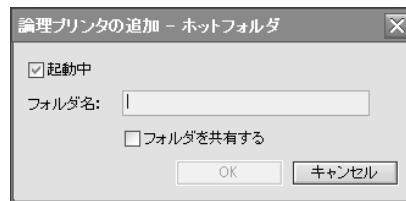
3. ［論理プリンタの管理］をクリックします。

補足　ServerManagerの［管理］→［論理プリンタの管理］を選択しても、［論理プリンタの管理］ダイアログボックスを表示できます。

4. ［TCP/IP］、または［ホットフォルダ］を選択して、［追加］をクリックします。

◆TCP/IPを利用してLPR/LPDジョブをプリントする場合

［起動中］にチェックマークが付いていることを確認し、lprからプリントするときは、［プリンタ名］に使用するプリンター名を入力して、［OK］をクリックします。

参照　［論理プリンタの追加］ダイアログボックスについては、「［論理プリンタの追加］ダイアログボックス」（P.38）を参照してください。

◆ホットフォルダを利用してFTPからプリントする場合

［起動中］にチェックマークが付いていることを確認し、［フォルダ名］にフォルダー名を入力して、［OK］をクリックします。

- 以下の作業用フォルダーの下に、サブフォルダーが作成されます。作業用フォルダーについては、『ユーザーズガイド導入編』の該当箇所を参照してください。
  D:¥Fuji Xerox¥Print Server PX¥work¥HotFolder¥folder1
- 設定できるサブフォルダーは、最大50です。

参照 ［論理プリンタの追加］ダイアログボックスについては、「［論理プリンタの追加］ダイアログボックス」(P.38) を参照してください。

5. ［論理プリンタの管理］ダイアログボックスで、［OK］をクリックします。

6. ServerManagerのネットワーク状態ウィンドウに、「TCP/IP」、および「ホットフォルダ」が表示されていることを確認します。

TCP/IPクライアントからのジョブを受信できます。

Microsoft Windows Network用の論理プリンタの作成

Print ServerがWindowsクライアントからMicrosoft Windows Network経由でジョブを受信するためには、以下の論理プリンタの設定が必要です。デフォルトでは、［FXSERVER］の名称で通信するように設定されています。共有の設定が必要な場合に、以下の設定を行います。

Windows ネットワークでの共有プリンターを使用してプリントする場合は、ポートを開放する必要があります。ポートの開放方法については、「ポート開放の設定」(P.31) を参照してください。

操作手順

1. Windowsの［スタート］→［すべてのプログラム］→［Fuji Xerox］→［Print Server PX］→［FX ServerManager］を選択します。

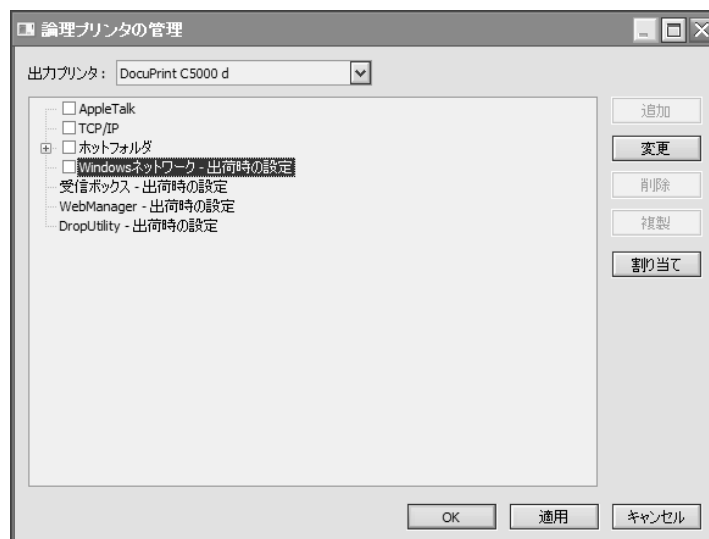
ServerManagerが起動します。

2. ［ログイン］をクリックし、［ログイン］ダイアログボックスから、管理者モードでログインします。

補足
- ServerManagerの［システム］→［ログイン］を選択しても、［ログイン］ダイアログボックスを表示できます。
- パスワードは「Print Serverの起動」(P.18) で設定したものを入力します。

3. ［論理プリンタの管理］をクリックします。

補足 ServerManagerの［管理］→［論理プリンタの管理］を選択しても、［論理プリンタの管理］ダイアログボックスを表示できます。

4. [Windowsネットワーク] を選択し、[変更] をクリックします。

5. プリンターを共有する場合は、[Windowsプリンタを共有する] にチェックマークが付いていることを確認し、[共有プリンタ名] に共有プリンター名を入力して、[OK] をクリックします。

6. [論理プリンタの管理] ダイアログボックスで、[OK] をクリックします。

Microsoft Windows Network経由で、クライアントコンピューターからのジョブを受信できます。

プリント操作

Print Serverを運用する前に必要なプリント操作を説明します。

スタートアップページのプリント

スタートアップページをプリントして、正しく印字されるかどうかを確認します。

1. ServerManagerの［ログイン］をクリックし、［ログイン］ダイアログボックスから、管理者モードでログインします。

・ServerManagerの［システム］→［ログイン］を選択しても、［ログイン］ダイアログボックスを表示できます。
・パスワードは「Print Serverの起動」（P.18）で設定したものを入力します。

2. ServerManagerの［システム］→［スタートアップページの印刷］を選択します。
3. ［スタートアップページの印刷］ダイアログボックスで、［OK］をクリックします。
4. スタートアップページを確認します。
オプション製品が装着されている場合は、スタートアップページのオプションの項目に表示されていることを確認します。

スタートアップページの詳細は、『ユーザーズガイド運用編』を参照してください。

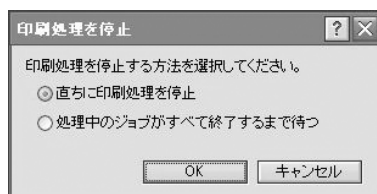
プリント処理の強制停止と再開

プリンター側のプリント処理をPrint Serverから停止したり、処理を再開したりできます。プリント処理は、強制的に停止する方法と、ジョブの処理を終了してから停止する方法があります。プリント処理の停止 / 再開は、メニューの選択によって切り替わります。

プリント処理を再開すると、通常のプリント処理が開始されます。

この機能は、ServerManagerに管理者モードでログインしている場合にだけ使用できます。

操作手順

1. ServerManagerの［システム］→［印刷処理を停止］を選択します。

- 直ちに印刷処理を停止
処理中のジョブを含めて、すべてのプリント処理をすぐに停止します。
- 処理中のジョブがすべて終了するまで待つ
処理中のジョブのプリントが終了したあとに、プリント処理を停止します。

2. プリント処理を停止する方法を選択し、［OK］をクリックします。

プリント処理を再開する場合は、［システム］→［印刷処理を再開］を選択します。

バージョンアップとリカバリー

Print Serverのバージョンアップ

弊社では、Print Serverをバージョンアップするツールを提供しています。
最新のバージョンアップ用ツールは、以下の弊社ホームページからダウンロードすることができます。
表示されたホームページの指示に従って、バージョンアップ用ツールをダウンロードしてください。
http://www.fujixerox.co.jp/download/

通信費用はお客様の負担になりますのでご了承ください。

Print Serverのソフトウエアのインストール

Print Serverのソフトウエア（Fuji Xerox Print Server Service）が起動しないときは、再インストールをしてください。

操作手順

1. 必要に応じて、クライアントコンピューター、またはメディアにデータをバックアップします。

- 設定ファイルのバックアップと復帰については、『ユーザーズガイド導入編』の該当箇所を参照してください。
- ボックス、フォントのバックアップと復帰については、『ユーザーズガイド運用編』の該当箇所を参照してください。

2. Print Server DVDをDVDドライブに挿入します。
3. Windowsの［スタート］→［コンピュータ］→［DVD RWドライブ］→［Server］→［Installer］を選択します。
4. ［Setup.msi］アイコンをダブルクリックします。
5. ［Fuji Xerox Print Server N01の削除］を選択し、［完了］をクリックします。

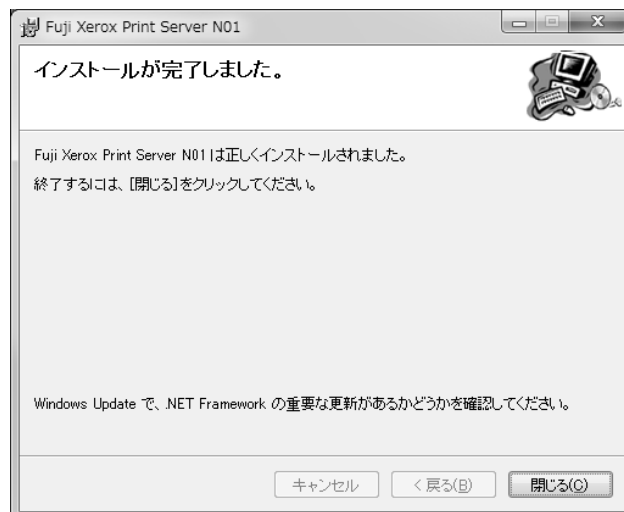
Fuji Xerox Print Server Serviceのアンインストールが開始されます。

6. アンインストールが終了したら、[閉じる] をクリックします。

7. 「Setup.msi」をダブルクリックします。

8. 画面の指示に従い、[次へ] を4回クリックします。

Fuji Xerox Print Server Serviceのインストールが開始されます。

9. インストールが終了したら、[閉じる] をクリックします。

10. Print Serverを再起動します。

補足　再起動後、必要に応じて、Print Serverの設定を行ってください。

Print Serverのリカバリー

Print Serverを工場出荷時の状態に戻すことができます。

注記　リカバリーをするには、カバーを外す必要があります。
カバーを取り外して作業するときは必ず、Print Serverを停止したあと、背面の電源スイッチで電源を切り、すべてのケーブル類を抜いてください。

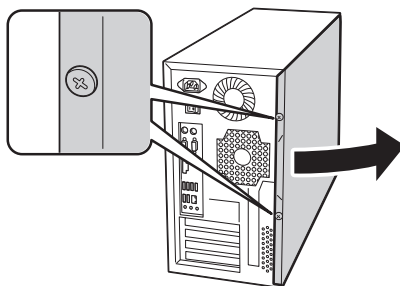
補足　リモートデスクトップ接続やPrint Serverの操作パネルでリカバリーをすることはできません。
リカバリーをするときは、モニターとキーボードを接続してください。

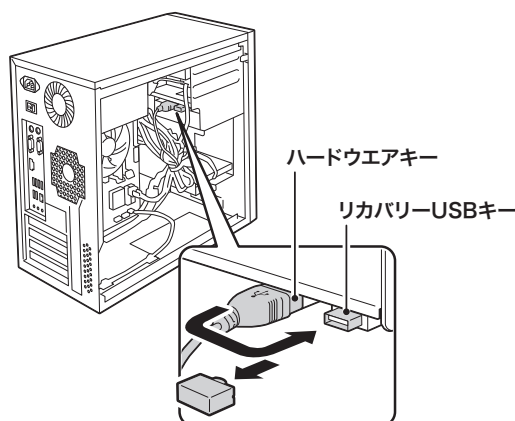
操作手順

1. 電源オフ作業状態にします。

Print Serverを停止したあと、背面の電源スイッチで電源を切り、すべてのケーブル類を抜きます。

参照　電源オフ作業状態については、「電源オフ作業」（P.17）を参照してください。

2. 付属のドライバーを使用して、ネジ（2本）を外したあと、左側面カバーを背面側にずらしながら外します。

注記　付属されているドライバーでは、カバー固定用のネジ以外を外さないでください。

3. ハードウエアキーからUSBケーブルを抜いて、カバーを外したリカバリーUSBキーにしっかり奥まで接続します。

4. 付属のドライバーを使用して、ネジ（2本）で左側面カバーを取り付けます。

5. システムを接続します。

ケーブル類を接続したあと、背面の電源スイッチで電源を入れ、Print Serverを起動します。

参照　システムの接続については、「システムの接続」（P.17）を参照してください。

6. モニターに以下のメッセージが表示されたら、〈A〉（または〈C〉、〈D〉）キー→〈Enter〉キーの順に押します。

```
PrintServer System Recovery

C :Restore Drive C: (Over Write Use Only)
D :Restore Drive D: (Over Write Use Only)
A :Restore All Partitions (C:-D: w/MBR Delete)
M :Manual Operations
X :Exit Command Prompt

   Input Restore Command. ex.:A[enter]
```

補足 Print Serverの状況に合わせて、リカバリーするドライブを選択してください。
・〈A〉キー→すべてのドライブ（CドライブとDドライブ）のリカバリー
・〈C〉キー→Cドライブ（OS）のリカバリー
・〈D〉キー→Dドライブ（ServerManager）のリカバリー

7. モニターに以下のメッセージが表示されたら、いずれかのキーを押します。

```
PrintServer System Recovery

Drive C:, D: All Clear
"Ctrl+C" to cancel
続行するには何かキーを押してください. . .
```

・上記はすべてのドライブをリカバリーした場合のメッセージです。
・〈Ctrl〉キーと〈C〉キーを同時に押すと、手順5の表示に戻ります。
・リカバリー時間は、およそ21分です。

リカバリーが開始されます。

8. モニターに以下のメッセージが表示されたら、いずれかのキーを押します。

```
Restore Complete
remove USB Recovery Media
and Reboot
続行するには何かキーを押してください. . .
```

リカバリーが終了し、Print Serverがシャットダウンします。

9. 電源オフ作業状態にします。

背面の電源スイッチで電源を切り、すべてのケーブル類を抜きます。

参照 電源オフ作業状態については、「電源オフ作業」（P.17）を参照してください。

10. 付属のドライバーを使用して、ネジ（2本）を外したあと、左側面カバーを背面側にずらしながら外します。

11. リカバリーUSBキーからUSBケーブルを抜いて、ハードウエアキーにしっかり奥まで接続します。

12. 付属のドライバーを使用して、ネジ（2本）で左側面カバーを取り付けます。

13. システムを接続します。

ケーブル類を接続したあと、背面の電源スイッチで電源を入れ、Print Serverを起動します。

参照 システムの接続については、「システムの接続」（P.17）を参照してください。

主な仕様

製品の仕様、外観は改良のため予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■Print Server本体

項目		Print Server
対応OS		『ユーザーズガイド導入編』を参照してください。また、最新のOSについては、ダウンロードサービスをご覧ください。
搭載フォント（PostScript）		・日本語2書体 平成明朝W3 平成角ゴシックW5 ・欧文136書体
ページ記述言語		Adobe PostScript 3
プリントデータフォーマット		PS、PDF、EPS、TIFF、JPEG
対応プロトコル		TCP/IP（lpd/FTP）、AppleTalk、SMB、Bonjour
インターフェイス		Ethernet：1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T
CPU		インテル Celeron プロセッサー E3400（2.6GHz）
メモリー容量		2GB（オプションで2GB追加可能）
記憶装置	ハードディスク装置	250GB
	DVD-ROM装置	DVD：8倍速、CD：24倍速
大きさ		幅190×奥行420×高さ365mm
設置スペース		幅800×奥行920mm
質量		約11.0kg
電源		AC100V±10%、15A（推奨コンセント容量。本体側最大電流4.3A）、50/60Hz共用
最大消費電力		370W以下

■モニター

モニターとキーボードはオプションです。

項目	仕様
種類	43.2cm（17型）TFTカラー液晶モニター（1,280×1,024dpi）
電源	AC100V±10%、0.9A、50/60Hz共用
最大消費電力	38W以下
大きさ	幅363×奥行188×高さ382mm
質量	約4.7kg

■キーボード

補足 モニターとキーボードはオプションです。

項目	仕様
種類	日本語89キーボード
大きさ	幅292 × 奥行172.6 × 高さ34mm
質量	約0.8kg

オプション製品について

■商品名と商品コード

オプション商品は次のとおりです。
お買い上げの際は、販売店にご連絡ください。

商品名	商品コード
増設サーバーメモリー（2GB）	EC102038
DTP機能拡張キット	EC102039
LCDモニターキット	ED200428
i1 Kit	EC101273

- 商品の種類や商品コードは、2011年7月現在のものです。
- 商品の種類や商品コードは変更されることがあります。
- 最新の情報については、弊社のホームページ（http://www.fujixerox.co.jp）をご覧ください。

■メモリーの取り付け

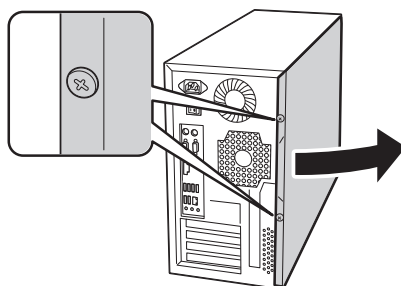
メモリーを取り付けるには、カバーを外す必要があります。
カバーを取り外して作業するときは必ず、Print Serverを停止したあと、背面の電源スイッチで電源を切り、すべてのケーブル類を抜いてください。

操作手順

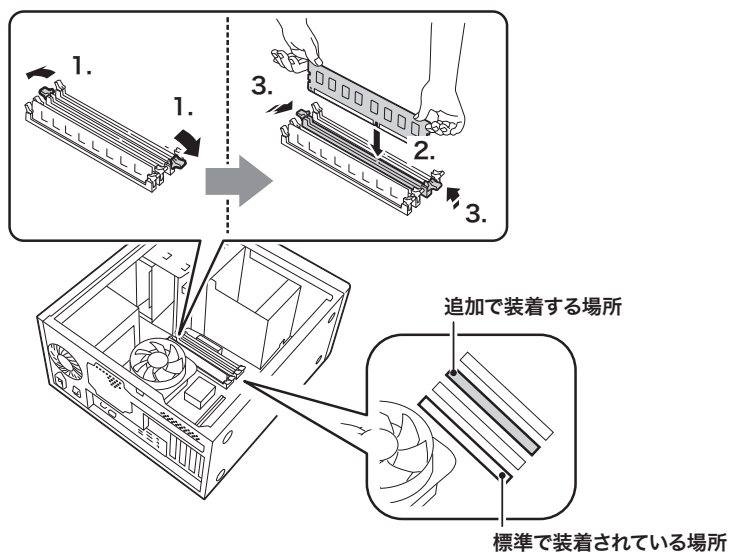
1. 電源オフ作業状態にします。

Print Serverを停止したあと、背面の電源スイッチで電源を切り、すべてのケーブル類を抜きます。

参照 電源オフ作業状態については、「電源オフ作業」（P.17）を参照してください。

2. 付属のドライバーを使用して、ネジ（2本）を外したあと、左側面カバーを背面側にずらしながら外します。

注記 付属されているドライバーでは、カバー固定用のネジ以外を外さないでください。

3. Print Serverを横に倒し、左側面を上にします。

4. メモリーを取り付けます。

1. 両側のストッパーを引きます。
2. コネクター部分（金メッキ部）を下にして、メモリーを奥まで差し込みます。
3. メモリーの凹部に当たるように、両側のストッパーを戻します。

注記
- メモリーが奥まで差し込まれて、ストッパーで固定されていること確認してください。
- 正しい位置にメモリーを取り付けてください。間違った位置に取り付けると、Print Serverの性能が十分に発揮できないおそれがあります。

5. 付属のドライバーを使用して、ネジ（2本）で左側面カバーを取り付け、Print Serverを起こします。

6. システムを接続します。

ケーブル類を接続したあと、背面の電源スイッチで電源を入れ、Print Serverを起動します。

システムの接続については、「システムの接続」（P.17）を参照してください。

補修用性能部品の保有期間について

弊社は製品の補修用性能部品（機械の機能を維持するために必要な部品）を機械本体の製造終了後７年間保有しています。

商品のお問い合わせ先について

● この商品の保守、操作、修理(内容、期間、費用)のお問い合わせ、および消耗品をご購入される場合は、商品に貼られている保守サポートの問い合わせ先カードの裏面に記載のあるテレフォンセンター、または商品センターにお問い合わせください。

表 面

裏 面

お問い合わせ先が不明の場合は、富士ゼロックス プリンターサポートデスクにお問い合わせください。

フリーダイヤル：0120-66-2209（フジゼロックス）　FAX：0120-14-1046

フリーダイヤル受付時間：土、日、祝日、および弊社指定休業日を除く 9 時～ 17 時 30 分
フリーダイヤルは、携帯電話・PHS および海外からはご利用いただけません。また、一部の IP 電話からはつながらない場合があります。
お話の内容を正確に把握するため、また後に対応状況を確認するため、通話を録音させていただくことがあります。

本機を廃却する場合は、お買い上げいただいた富士ゼロックス、各販売会社の担当営業にお問い合わせいただき、お申し込みください。
担当営業が不明な場合には、プリンター回収センターで受付します。
TEL：0120-88-8641　　FAX：0120-22-6993
受付時間：9 時～ 12 時、13 時～ 17 時

弊社へのお問い合わせの際には、機種名と機械番号を確認させていただきます。
保守サポートの問い合わせ先カードの裏面の「機種」「機械 No.」、もしくは商品の背面、または側面の銀色のシールに記載されている「商品名」「商品コード」「SER#」を事前にご確認ください。

● 富士ゼロックスに対するご意見、ご相談などは、お客様相談センターにご連絡ください。

フリーダイヤル：0120-27-4100

フリーダイヤル受付時間：土、日、祝日、および弊社指定休業日を除く 9 時～ 12 時、13 時～ 17 時
フリーダイヤルは、携帯電話・PHS および海外からはご利用いただけません。また、一部の IP 電話からはつながらない場合があります。
お話の内容を正確に把握するため、また後に対応状況を確認するため、通話を録音させていただくことがあります。

ホームページアドレス：http://www.fujixerox.co.jp
商品全般に関する情報、最新ソフトウエアなどを提供しています。

Print Server N01 ユーザーズガイドセットアップ編

著作者 ― 富士ゼロックス株式会社　　発行年月―2011 年 7 月　第 1 版
発行者 ― 富士ゼロックス株式会社

897E 35440
DE4842J1-1
Printed in Japan